

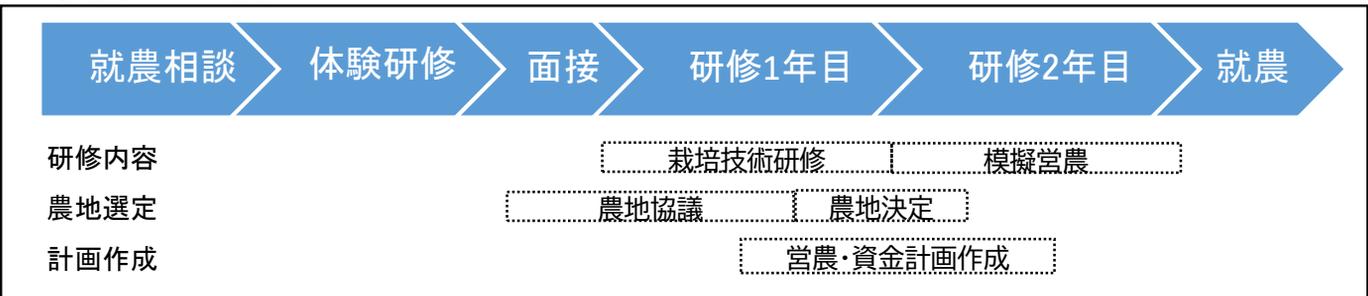
●玖珠町のトマト産地の紹介

- ・大分県内のトマト生産量はここ10年で20%以上増加しており、玖珠町でも主要産地としてハウスでの栽培が盛んに行われています。
- ・新規就農者はビニールハウスと養液土耕システムを整備し、栽培の省力化と収量の確保を行うことで、就農初期から安定した収入を確保しています。
- ・狭小な地形のため、間口6mのビニールハウスを農地の形に合わせて、縦横に組み合わせることも必要になります。
- ・「玖珠町ファーマーズスクール」では、4名の移住者が研修し既に独立しています。私たちトマト部会員自らがコーチとなり、農業経験が無くても一人前のトマト農家になれるよう指導していきます。

●トマト栽培のスケジュール

内容	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
土作り				←→									
定植					←→								
収穫								←→					
片付け		→											←

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標	就農10年目の経営目標
<p>品目・規模・収量(単収/10a)</p> <p>・トマト 35a 38.5t(11t/10a)</p>	<p>品目・規模・収量(単収/10a)</p> <p>・トマト 40a 48t(12t/10a)</p>
<p>販売額・所得</p> <p>・販売額 1,270万円・所得 500万円</p>	<p>販売額・所得</p> <p>・販売額 1,580万円・所得 540万円</p>
<p>従事者</p> <p>・家族 2人</p>	<p>従事者</p> <p>・家族 2人、雇用 2人(7月～9月)</p>

・規模拡大
・単収増加
・雇用増

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

○経営概要

面積 40a 単収 12t 販売額 1,580万円 所得 540万円

構成員 本人、妻、両親、4名

○就農10年目

○栽培のポイント

苗の購入により労力削減

病害虫抵抗性品種（台木）および防草シートによる減農薬

養液土耕システムの導入による管理のスマート化

●私たちがサポートします～技術習得から就農までのサポート体制～

○JAおおいた玖珠九重トマト部会

○JAおおいた西部事業部

○大分県西部振興局

○玖珠町農林課

○玖珠町ファーマーズスクール（ベジタスクール連絡協議会）

●玖珠町の支援策

○玖珠町ファーマーズスクール（R5.4入校）

研修期間2年（問い合わせは随時）

○移住・定住支援

・移住者居住支援事業補助金
（空き家購入・改修、引越補助 他）

・空き家バンク事業

・空き家活用準備補助金

・空き家リフォーム事業

○子育て支援

・子ども医療費助成事業
（高校卒業まで医療費無料）

・子ども・子育て支援事業
（未就学児の保育料の一部助成）

●産地が求める人材

・農業経験は問いません。農業一本で儲けていくという意欲ある人、過疎化する地域を盛り上げたいという人を募集しています。

・年齢は満18歳以上、就農時に50歳未満

・玖珠町内で就農・定住すること

・当面必要な生活費等の貯蓄がある者 等

●問い合わせ先

JAおおいた西部事業部 園芸課（玖珠駐在）

〒879-4403

玖珠郡玖珠町大字帆足357番地の1

TEL:0973-72-6767

FAX:0973-72-0269

玖珠町役場 農林課

〒879-4492

玖珠郡玖珠町大字帆足268番地の5

TEL :0973-72-7164

FAX:0973-72-0810

メール:nosei@town.kusu.oita.jp

ホームページ: <https://town.kusu.oita.jp>